

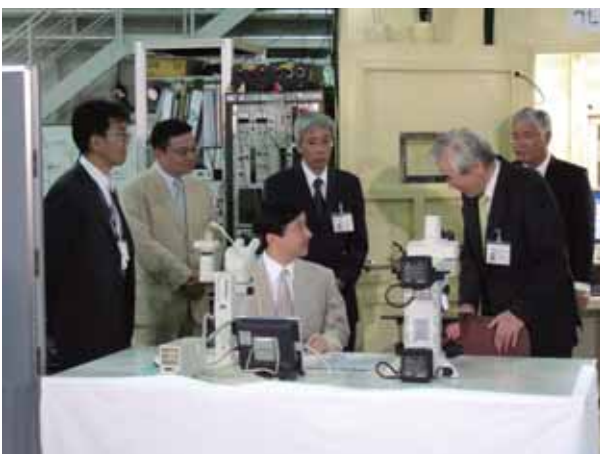
Ⅷ 広報

1. 行啓(2007年度)

皇太子殿下が佐賀県で開催された平成 19 年度全国高等学校総合体育大会のために来県され、その行程の中で 2007 年 7 月 27 日に研究センターをご視察いただいた。



制御室（モニター）や実験ホール（ビームライン測定装置）などをご覧になり、皇太子殿下は科学への造詣が深く、大変熱心に説明をお聞きになられていた。



2. 施設一般公開(2007年度)

研究センターでは、2006 年 2 月からビームラインの本格運用が開始されたが、県立施設である当研究センターを地域住民や県民に広く知ってもら

ため、また、科学に興味をもってもらうため 2007 年度から施設公開を実施することとした。

2007 年度は、鳥栖市にある独立行政法人産業技術総合研究センター九州事務所の施設公開と合わせ、2007 年 9 月 29 日（土）に開催し、鳥栖市の協力により両施設をシャトルバスで結び来場者の利便を図った。

【施設公開内容】

- 施設紹介パネル展示、ビデオ上映
- X線リソグラフィで製作した微細加工パターンの顕微鏡観察
- CD分光器の製作及び遊び方
- 電磁石の実験
- 電子線の観察
- クイズラリーほか

表 3 施設公開入場者数 (単位：人)

| | 2007 年度 |
|---------|---------|
| 施設公開入場者 | 200 |

3. 施設広報

3-1 2006 年度

2006 年度に参加し、ポスター発表等を行った展示会等は次のとおりである。

(国 内)

- 第 13 回小角散乱国際会議 (SAS2006)
(2006.7.9-13、第 13 回小角散乱国際会議組織委員会)
- 第 3 回日本加速器学会年会
(2006.8.2-4、日本加速器学会)
- アジアオセアニアフォーラム
(2006.11.24~25、日本放射光学会)
- 第 11 回広島放射光国際シンポジウム
(2007.3.7-8、広島大学放射光科学研究セン

ター)

(海外等)

- The 9th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation (SRI2006)
(2006.5.28-6.2, Pohang Accelerator Laboratory, JASRI)

また、専門の研究者から一般市民まで、広範な分野からの見学者を受け入れ、研究センターの紹介を行った。なお、2006年度の見学者数は、2,725人であった。

3-2 2007年度

2007年度に参加し、ポスター発表等を行った展示会等は次のとおりである。

(国内)

- 第4回 加速器学会年会・第32回 リニアック技術研究会
(2007.8.1-3、日本加速器学会・リニアック技術研究会)
- 第21回日本放射光学会・放射光科学シンポジウム
(2008.1.12-14、日本放射光学会)
- nano tech 2008 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
(2008.2.13-15、nano tech 実行委員会)

また、2007年度の見学者数は、2,033人であった。